## 新型コロナウィルス対応について(第9報)対応変更一覧

\*2020年6月22日改定 下記に記載なき項目(部門内ルール等)は個別判断する。

	項目	実施内容
健康管理		
		毎朝の検温を実施し、所定の記録表に記載する。(部門長は毎日確認する)体温には個人差があるので、体調と合わせて 判断をする。微熱だけで判断しない。
理	本人及び	・体温に関わらず、体調不良(せき、息苦しさ、強いだるさ、発熱、味覚嗅覚異常、咽頭通など症状がある場合)の場合には
・感染予防	家族の体調管理	会社に連絡し出社はしない。かかりつけ医など医療機関への受診の前には事前に電話し、指示に従う。
		連絡を受けた拠点長・部署長は総務に連絡する。 ・子どもの学校や家族の体調不良により、勤務に支障が出そうな場合は、その旨を拠点長・部署長を通じて人事まで報告。
		本人及び家族の発熱時の連絡体制を整備する。
		営業本部・管理本部と各拠点間での毎朝の TV 電話による状況確認。
	マスク着	・屋外の作業や周囲に人がいない状況、人と十分な距離(2m以上)があるとき、飛沫感染防止対策(壁やカーテン等)がとら
職場環境	用	れているときは、マスクは外してよい。熱中症に十分気を付けて、マスク着脱を行うこと。
	室内換気	2 時間ごとの室内換気を行い、実施記録を確認する。
	消毒と記	階段の手すり、ドアノブ、蛇口など人が触れる箇所のアルコール消毒を 2 時間ごとにチェックリストを活用して行い、記録表に記
	録	録。
	フィジカル	事務室・会議室等の机・着座間隔を2メートル以上離すか、濃厚接触防止対策を実施する。
	ディスタン ス	会議や昼食時も含め、社員同士の会話も 2 メートル離れて話す。離れて座る。 
業務対策(外出・移動制限・会議運営・行事・イベント・来客・訪問ルール)	県外来訪	県外からの来訪を許可する。場所や条件(人数規模、3密回避、十分な換気、消毒、マスク着用等の感染防止対策の有
	者	無や感染リスク評価に照らして)と、社会状況を見ながら段階的に緩和していく。個別判断する。
	外出·出 勤全般	不特定多数の濃厚接触可能性ある外部施設(カラオケ・スポーツジム・パチンコ店等)や用具の利用は感染対策を実施して
		いる場合は許可する。
		集合行事・会議は、WEB会議やリモートワークを積極的に利用し、感染予防と合理化を図る。
		拠点朝礼の時間短縮と分散実施。
		残業ゼロや「早上がり」、特別休暇や臨時休業など、不要な社内滞在を回避。 営業等の理由で得意先に行く場合、事前に訪問先へ訪問確認をする。
	 社内会議	TV 会議、WEB 会議(Teams)等活用と、開催頻度や参加者の削減、開催時の3密回避、会議時間短縮を行う。
	江四五成	- Xテップ② (6/19~7/9)
	業者会・ 外部団体	県外の移動を含む業者会・外部団体の会合出席を許可する。ただし、3 密を避けた机配置、十分な換気、個別配膳など感
		染予防対策が取られ、「新しい生活様式」に配慮したものであることを確認し出席すること。出席者・来場者が不特定多数の
		会合やイベント及び上記の対策がない会合・会食・懇親会は、人数規模によらず十分に注意をして慎重な態度で参加するこ
		と。ゴルフ・接待目的の飲食は7月も継続して自粛する。
	県外出張	・ステップ②(6/19~7/9)県外の移動を許可する。ただし、事前に出張先の感染状況を確認し、北海道、東京都、福岡
	県外移動	<b>県など特定警戒地域</b> への移動はその都度会社に報告、会社としての許可を得てから出張すること。
	出張・帰	
	省 県外から	中国 5 県以外から移動来県した社員は、来県した日からの健康記録及び外出場所・接触者との記録を会社に提出する (14 日間目安)。
	移動	
	来客・来	トルート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		来客者全員の氏名と検温記録を保存する。
		関連企業・グループ企業社員や自社他拠点者も含め、来訪者は手指アルコール消毒と検温を実施。来訪記録つける。
		・7月1日よりメーカーの拠点訪問や同行販売、試食会は条件付きで許可する
		【条件】・マスク着用
		・試食会は1日1社、参加者は3密を避け1回10名までとし、分散して開催。
		・メーカーから紹介商品情報を事前入手。地域営業本部→営業推進本部に回付。 
	160 E0015	・同行販売は、訪問する得意先に事前に了承を得ること。
	拠点間移	・ステップ②(6/19~7/9)拠点間・事業所間の移動を許可する。
	動	